

平成 30 年度京田辺市障害者基本計画等策定委員会（第 1 回）議事録

- (1) 第 3 期京田辺市障害者基本計画及び第 4 期京田辺市障害福祉計画の平成 29 年度実績報告について

○質問・意見なし

- (2) 第 5 期京田辺市障害福祉計画（第 1 期障害児福祉計画）の概要について

○質問・意見なし

- (3) 京田辺市自殺対策計画策定に係るアンケート結果報告について

**【副委員長】** 計画に基づき、京田辺市の福祉施策に関連して動く。数値目標 1 か所、2 か所という数値があがっていたが、この 3 年の間に作らないといけないものもある。自立支援協議会の専門部会から私も含め、4 部会長も来ている。各部会で計画を踏まえ、運営と検討をお願いしたい。

- (4) 京田辺市自殺対策計画策定について

**【副委員長】** 障害福祉に携わる人間として興味深い。特に学齢期の自死が後を絶たない。高齢者が 1 人になった後の自殺も耳に入ってくる状態である。

こころの健康に関する住民調査は私にも届いた。計画の理念（案）3 つについても障害福祉に携わる者としても合う理念だと思うので、進めていきたい。

自死、自殺が減らないのでしっかり考えないと。ここだけでなく、学校のいじめや職場のいじめ、医療の限界など多方面での指針にもなる。説明のとおり、市民への周知、相談窓口など表に出していきたい。ゲートキーパーの研修にもどんどん参加してもらいたい。

**【委員】** 京田辺市で実際何人おられるのか。

(事務局) 国で統計を取っており、京田辺市は平成 29 年は 12 名が自殺で亡くなっている。資料で平成 21 年からの統計資料によると、最も多いのが平成 22 年に 18 名、最も少ないのが平成 27 年に 5 名。年によりばらつきがある。大体、10 名前後で推移している。

**【委員】** 若い人か。

(事務局) 年齢層は、最も多いのが 40 歳代。

【委員】意識調査とは別に実態調査の数字、例えば、年齢層や理由が推測できるのであれば、理由とかも計画策定には需要になってくると思う。

(事務局) 国の数値データがあり、そこから自殺で亡くなった理由は分類で分けられているが、亡くなられる理由の一つではなく、いろいろある。深く探ることが難しい。亡くなった方に聞くのは実際に不可能であるため、市民へのアンケート調査を行い、そこから市としての施策を進めたいと考えている。

自殺自体を防ぐための計画ではなく、市民の意識が自殺に向かわないための計画策定を考えている。自殺で亡くなった方の数値は国のデータで分かるが、意識が自殺に向かわないための取組みを進めていくうえでは、アンケートから出てきた情報を資料としたい。

【委員】田辺署ではローカルな情報は持っていないのか。健やかな心身の生活に向けた計画だと思うが、その方向に向かうためにはどこを手厚くするのは実態から見えてくるのではないかと思う。

【副委員長】自殺対策と書いているので、自殺を防ぐ方へ話が進んでしまうが、地域のコミュニティが昔よりも減ったように思う。人口が増えるとコミュニティが減っていく。さみしく感じる。小さな町だからできることもしていく必要がある。委員から出された意見を踏まえて、計画の理念(案)3つから選ぶか、良いものがあれば記入いただきたい。